

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ローゼルこどもDayさぼーと				公表日	令和 7年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリーではないが、シンプルな構造で死角が少ないです。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		建物の老朽化も進んでいるので、リフォームができるとういかなと思っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3		パニックになった時に気持ちを落ち着ける場所を整えたいと考えております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4		今後、職員や会社と話し合い改善したいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	年一回の評価を元に改善に努めています。	保護者向けの評価表に「はい」と記入されていないところが多いので、今後は改善して行きたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	管理者を中心に職員と話し合っています。	話し合いはなされていますが、業務改善には至っていないので、見直して行きたいと思えます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者による外部評価は行なっていませんが、グループの別法人を含め年に一度社内実地指導を行い、業務改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		職員全体の共通理解をさらに深めて行けるように努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3		以前は共有されていなかったようなので、現在は会議し周知しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		現在、ツールを用いたアセスメントを使用できるように検討中です。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	児童発達支援管理責任者がガイドラインに沿って計画書を作成しています。	以前の支援内容は具体的なものではなかったため、現在調整ガイドラインに則した支援内容に調整しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	管理者と児童発達支援管理責任者が中心に児童指導員たちと実施しています。	以前は固定化されていましたが、現在は職員がそれぞれ考案し、様々な支援を行なっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	児童発達支援管理責任者が毎日異なる支援プログラムを計画しています。	以前は固定化されていましたが、現在は職員がそれぞれ考案し、様々な支援を行なっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	児童発達支援管理責任者が支援プログラムを準備しています。	職員が大きく入れ替わったので、以前の支援を見直し、個々にあった支援をして行きたいと思えます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ブリーフィングを実施しています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5		支援終了後には直接打ち合わせ等を行うことはできませんが、ツールを用いて共通の認識を持つるように努めていきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		日々の業務が多いですが、支援の検証・改善のための時間確保に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3		職員が大きく入れ替わったので、内容等を見直し、適切なものへと調整しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	4	児童発達支援管理責任者が毎日5領域を意識したプログラムを準備しています。	職員が大きく入れ替わったので、支援を見直し、適切なものへと調整しています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校便りや送迎時にも先生などと情報共有や連絡調整を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談支援事業所などと連携し、会議などを行い情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	卒業時などで移行する際は情報共有を行なっています。相談支援事業所などとも連携しています。	今までに移行の経験をしていない職員もいるので、丁寧に教えて行きたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		日々の業務が多いので、仕事の簡素化を考えて可能な限り参加したいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		今までは外出支援が少なかったため、様々な場所へ行き交流を深めて行きたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		日々の業務が多いので、仕事の簡素化を考えて可能な限り参加したいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や電話などでお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族が参加できる機会を設けていきたいと思っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	管理者と児童発達支援管理責任者が中心に対応しています。	児童発達支援管理責任者が入れ替わったので、きちんと面談等を行い、適切な支援ができるように調整中です。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	音楽祭、スポーツフェスティバルなどを開催しています。	事業所単位での保護者会も検討中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		事業所便りを定期的に発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫で保管しています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		法人で行なっている音楽祭などに地域の方も招待していきたいと検討中です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		マニュアルは完備していますが、さらにご家族への周知を徹底していきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年二回の避難訓練を実施しています。	実際の訓練を行なって行きたいと思えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		てんかんの対応など研修を実施していますし、県が発行しているえいぶるノートを活用しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		医師の指示書の提出はないので、アレルギーのある子は個別に保護者へ確認して、自分で取り除けるかなどを聞き取りしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		外出時には安全計画を立てた外出許可を本部へ提出し、支援を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		保護者への周知が不十分なので、周知するようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	3	ヒヤリハットの書式が準備されています。	今までヒヤリハットの内容を話し合う機会が少なかったため、対応策を職員みんなで考えていきたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年二回の研修を行なっていますし、行政の行う研修にも申し込みを行なっています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		法人で委員会を設けて研修を行なっています。身体拘束は行なっていません。	